

女子栄養大学大学院50周年 記念講演&座談会

「少子超高齢社会における科学的根拠に基づく実践活動のための
栄養学・保健学研究－大学院に期待される役割と今後の展望－」

女子栄養大学大学院は、1969年に栄養学研究科栄養学専攻修士課程を開設して、その歴史が始まり、2019年に50周年を迎えます。本学創設者の香川綾が求めた「専門性の高いリーダー」を育てたいという思いは、見事に成就され、これまでに修士課程修了生557名、博士の学位取得者188名が、国内外で幅広い活躍を続けています。

そこで、開設50周年を記念し、香友会との共催で記念事業として、以下の講演と座談会を開催いたします。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

令和元年6月23日（日） 14：00～16：15

会場：坂戸キャンパス12号館5階 12501番教室

参加
無料

実施概要

1. 主催者挨拶

香友会 会長 山下静江
大学・短期大学部 学長 香川明夫

2. 大学院50年間の歩みと最近の活動状況

大学院 研究科長 武見ゆかり

3. 大学院担当教員および修了生による講演「高齢者の健康と栄養」

1) 「高齢者の低栄養・フレイル予防に栄養はどのように寄与できるか」

女子栄養大学・大学院 教授 上西一弘氏

2) 「古くて新しいたんぱく質栄養－高齢者における摂取量の現状と必要量－」

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 栄養ガイドライン研究室
室長 高田和子氏

<休憩 10分>

4. 座談会「－女子栄養大学大学院への期待と今後の展望－」

大学院担当教員、修了生、香友会会員による座談会

講演 1

「高齢者の低栄養・フレイル予防に栄養はどのように寄与できるか」

●女子栄養大学大学院 教授 上西一弘氏

日本はすでに超高齢社会にあり、高齢者の数、割合は今後ますます増加していきます。今回発表された日本人の食事摂取基準2020年版でも、高齢者の低栄養・フレイル対策が取り上げられています。今回の講演では、この非常に重要な課題に対して、私たちが専門としている「栄養」はどのように寄与できるのかを、さまざまなテーマを紹介しながら考えてみたいと思います。

講演 2

「古くて新しいたんぱく質栄養－高齢者における摂取量の現状と必要量－」

●国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
栄養ガイドライン研究室 室長 高田和子氏

たんぱく質栄養は、古くは食糧が不十分な時代に、たんぱく質・エネルギー失調症として重要な健康管理上の課題でした。日本においてはその後、食糧事情がよくなったために、たんぱく質の摂取量の過不足については、患者やスポーツ選手など一部の対象以外ではあまり気にとめられなくなりました。しかし、近年、高齢期の自立度の維持という観点から、再びたんぱく質栄養が重要視されるようになっていきます。

同時開催企画

◇大学院の活動に関する展示・進学等相談コーナー

会場：12号館4階 大学院コモンスペース

時間：総会終了後～14時

<申込方法>

大学院50周年記念講演会へのご参加は、同封されている返信用はがき、または大学院教務課宛メール (inkyomu@eiyo.ac.jp)にてお願いします。

※メールの場合は、件名に「大学院50周年記念講演会参加希望」とお書きの上、ご氏名（旧姓）と卒業学校部科年をお書きください。

申込締め切り：6月18日（火）

<問い合わせ先>

女子栄養大学大学院教務課 TEL：049-284-3867

E-mail：inkyomu@eiyo.ac.jp

主催：女子栄養大学大学院・香友会

